

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年1月10日～令和7年1月31日

公表：令和7年3月31日

事業所名 オレンジスクール 鶴見教室

	チェック項目	はい		いいえ	工夫していると思う点	改善策
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		適宜スペースの確保を行っています。	お子様の活動の流れに沿って机を移動し、その時間に合わせた活動スペースを確保しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		法令を遵守しています	今後も継続していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		エレベーターがない分、退室の際には特に気をつけて降りようお子様に伝えていきます。	面談室に入室する時のお約束ごとを考えていけると良いと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		毎日念入りにお掃除をしています。「割れ窓理論」を基に、補習や必要によっては真い替えられたきれいな用具や整頓された教室を目指し、お子様の安心安全を保障しています。	今後も継続していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		必要に応じて面談室を個別に使用できるようにしています。	今後もよりお子様の困難に寄り添った環境設定の方法を検討していきます。 例：パーテーションやクッションマットを使った遮蔽措置
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		週1の会議において共有事項や検討事項を話し合っています。	今後も継続していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		毎年、実施しています。	今後も継続していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		週1の会議において共有事項や検討事項を話し合っています。	今後も継続していきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		実施していません。	必要に応じて検討します
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		動画での研修や管理者研修等があります。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		作成、公表しています。	今後も継続していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		各特性にあわせたオリジナルの教材や活動を導入しています。	今後も継続していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		担当者会議を開催し、支援の方向性を教室単位で共有、立案しています。	全職員が確認できる場所にメモや手順書を添付し、支援の共有と均一化を図っていきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		担当者会議を開催し、支援の方向性を教室単位で共有、立案しています。	今後も継続していきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		発達検査の結果や事業所内のツールを用いたアセスメントを児童の普段の様子と合わせて確認しています。	今後も継続していきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		計画書にはガイドラインに準じた項目を設定しております。また個別の状況に応じた支援内容を設定しています。	今後も継続していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		週1の会議において共有事項や検討事項を話し合っています。	必要に応じて検討します。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		ひとつの活動（例：創作活動で「スライム」を2年連続で行っている）に対してよりお子様に楽しんでいただくためにトライ&エラーを実行中です。	同じ活動でも前回よりもよりよく提供できるためのPDCAサイクルの実施とともに、お子様がワクワクするような企画もより積極的に盛り込んでいきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		マンツーマンでの遊びと集団での遊び、どちらも大切にしています。	今後も継続していきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		毎日似の打ち合わせはありませんが定期的な情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		変わったことや注意すべき点を適宜共有しています。	ヒヤリハット、にこりほっとという記録も共有媒体として活用していきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		活動記録作成のシステムにより個別支援計画を確認しながら活動記録を作成するため、支援の検証、改善がしやすい環境です。	今後も継続していきます。
	23 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		定期的に行っています。	今後も継続していきます。
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		個別支援計画に沿って、ガイドラインの4つの基本活動を組み合わせた活動内容を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		お子様に合わせて意志表示カードを作成したりしてツールとしてご提示しています。	より細かな段階設定を行っていきます。 例：筆談、イラスト、2者択一での提示、意思表示しやすい環境設定	
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		管理者、児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も継続していきます。	

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年1月10日～令和7年1月31日
公表：令和7年3月31日

事業所名 オレンジスクール 鶴見教室

	チェック項目	はい		工夫していると思う点	改善策
		はい	いいえ		
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	年2回の地域連絡会に参加しています。	今後も継続していきます。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	LINEを使用してリアルタイムに気軽に情報共有をすることができています。	今後も継続していきます。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	実施していません。	必要に応じて検討します。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	実施していません。	必要に応じて検討します。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	今年度は研修への参加が非常に消極的でした。	次年度は、職員の研修参加量を（+1回）増やしたいと思います。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	実施していません。	今後も継続していきます。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	年2回の地域連絡会に参加しています。	今後も継続していきます。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	LINEを活用して面談に限らず情報共有できています。	今後も継続していきます。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	今年度は実施していません。	面談などでご家庭と一緒に調査・検証していきます。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	初回面談にてご説明しております。	今後も継続していきます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	面談の機会や、日々の利用中での会話の中からお子様や保護者様のご意向を聞き取っております。	今後も継続していきます。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	対面で計画の説明を行い、同意を得ています。	今後も継続していきます。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	面談時やお困りごとが生じた際にお話をさせていただいております。	今後も継続していきます。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	実施していません。	きょうだい同士の交流機会は個々の利用とのバランスを見ながら、兄弟が揃った時に初めて見られる課題や良いところなども支援の参考にしていきます。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実施歴はありませんが、即時対応が可能です。	今後も継続していきます。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Googleマイビジネス、ブログ、おれんじだよりで発信しています。	今後も継続していきます。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保護研修の開催や鍵付き書庫を活用しています。	今後も継続していきます。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	外国語が母国語の保護者様にはその場で翻訳したり、翻訳した個別支援計画をお渡しすることで理解を得られるように努めています。	教室から情報提供する際には受けて側を配慮した形式での提供を心がけていきます。 例：翻訳、イラストや動画、読む際の媒体を意識する（スマホで見ている可能性）など
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	実施していません。	ご家庭や児童のニーズに合わせて、慎重に検討をしていきます。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「おれんじだより」により、定期的に保護者様にお伝えしています。	今後も継続していきます。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	毎月テーマを決めて会議や研修・訓練をしています。	今後も継続していきます。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	LINEや面談を通して確認しています。	今後も継続していきます。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	利用児童の食物アレルギーについて保護者に書面で確認を行っています。	今後も継続していきます。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安全計画による研修を重ねていくごとに職員一同「どんなことに気をつけるべきか」を深く理解できています。	今後も継続していきます。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安全計画による研修内で決定した事項は順次導入し、おれんじだよりにてご家庭に伝えています。	今後も継続していきます。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年1月10日～令和7年1月31日

公表：令和7年3月31日

事業所名 オレンジスクール 鶴見教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	毎日、ヒヤリハットを書面にまとめています。	今後も継続していきます。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	虐待防止研修を実施しています。	今後も継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実施しています。	まずは身体拘束を行うことがないよう予防の観点から支援方法を工夫していきます。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年3月31日

事業所名: 放課後等デイサービス オレンジスクール 鶴見教室

対象人数(保護者)42人 回答者数 24人 回収 57.1%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	2			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1		わからない 管理者の方もスタッフのみならず、専門性の高いアドバイス、子どもへの細やかな対応をいただき感謝しています	今後もご家庭やお子様安心してご利用できるようなサービスを提供して参ります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	10	1	わからない	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	22	2		子どもも利用当初からずっと楽しく通わせていただいています	今後もお子様の特性を捉えながら楽しんでもらえるような活動を提供して参ります。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23	1		季節ごとのプログラムも毎回楽しみにして通っています	今後もお子様の特性を捉えながら楽しんでもらえるような活動を提供して参ります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	11	11	なくてもよい。 放課後等デイサービスの評価と言う趣旨と異なりますが、小学校のキッズクラブを利用しているので「はい」と回答しました。	今後地域の関係機関連携会などを活用してOSの情報発信を行うとともに、他の事業所様の情報も得て参ります。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	1			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	1		定期的面談、日々の利用でご相談したい時、いつも適切な支援を受けています	ひとつでもご家庭の悩みを軽減、解消していけるよう、研修への参加も積極的に行い職員の質の向上を図って参ります。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	11	12	保護者会などは希望しない。施設との面談で充分。 保護者会などは特に希望しません	ひとつでもご家庭の悩みを軽減、解消していけるよう、研修への参加も積極的に行い職員の質の向上を図って参ります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	9		わからない 苦情を申し入れたことはありませんが、そのような場合の窓口など、適切に案内されていると思います	契約の際には重要事項説明書も使用し、教室の対応体制を説明しております。気になる点があればお気軽にご質問いただければ対応が可能です。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	2	1		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	21	3			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	2			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24				
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	23	1			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
療育	⑱	療育は役に立っているか	24				
	⑳	今後やってほしい療育はあるか	5	13	6	<p>会話や受け答えなどシチュエーションに応じての対応力なども取り入れてほしい。夏休みなど長い休みの時は普段と違った行事や活動があれば。ゴミ拾いなどボランティア的な活動が年に何回かあれば。</p> <p>特に思いつく希望はありません 今のままでいいと思うので。</p>	<p>教材により「一般的な」言葉選びを理解する支援や、ロールプレイなども少しずつ取り入れ始めつつあります。支援プログラムでは教室で実際に行っている支援を記載しておりますので、是非ご参照いただき、気になる支援があればお問い合わせいただければ幸いです。また今後もお子様に合わせた支援方法を模索して参ります。</p>

事業所における自己評価総括表

事業所名	オレンジスクール 鶴見教室		
保護者評価実施期間	2025年	1月20日	～ 2025年 2月10日
保護者評価有効回答数	対象数	42 家庭	・ 回答数 24 家庭
従業者評価実施期間	2025年	1月10日	～ 2025年 1月31日
従業者評価有効回答数	対象数	6 名	・ 回答数 6 名
事業者向け自己評価表作成日	2025年	3月6日	

分析結果

	事業所の強み より強化・充実を図ることができる	工夫・意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習時間の確保 (学習時間、机に向かうことが担保されやすい)	お子様の困り感や苦手な箇所を適宜聞き取り、教材に随時反映をしています。学習をサポートするための道具のご用意や環境設定を心がけています。	スモールステップを設け、少しずつ教材の難易度を上げることで、お子様の自信に繋がるよう目標を設定していきます。
2	各発達段階に合わせたコミュニケーション	お子様の特性や生活環境に合わせて、SST教材をご用意しており、随時教材の見直しを行っています。また、創作活動等で他児と関わるお時間を定期的に設けています。	職員が多様なアプローチでお子様のコミュニケーションを引き出せるよう外部研修に参加をしていきます。
3	定期的な教室全体での避難訓練実施	災害が起きた際、少しでも落ち着いて行動ができるよう、年に2回、お子様達と災害を想定した避難訓練を行なっています。また、避難訓練だけでなく、創作活動等でも防災を意識した活動を取り入れ、防災に対する意識をより深めています。	災害時マニュアルだけでなく、熱中症等の対応マニュアルも教室に掲示しており、他の対応マニュアルも順次掲示する予定です。

	事業所の弱み 事業所の課題や改善点	課題の要因等	改善の取組や工夫が必要な点等
1	固定化された活動	ひとつの活動（例：創作活動で「スライム」を2年連続で行っている）に対してよりお子様に楽しんでいただくためにトライ&エラーを実行中です。	今後より新しく楽しい活動も企画し提案していきます。その一方で普段のルーティンを継続的にすることも大事にしていきます。次年度の創作活動でも新しい活動を予定しています。
2	階段のみの昇降によるバリアフリー化の難しさ	当教室は2階ですが、エレベーターがありません。	特に退室の際に職員から気をつけて降りるよう、お子様に伝えていきます。梅雨の時期のおれんじだよりでも階段の昇降についての注意喚起をしていきます。
3	療育活動の集団活動への参加が絶対ではない	高年齢児（中学生・高校生）のお子様も多く、療育活動ではじっくりお話をすることも多いです。	こちらの資料を作成時から、職員はお子様とお話をして過ごす際にも同学年や話の合うお子様同士を集めながら集団化していきます。

自己評価を実施しての感想

<p>お忙しいところアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>教室での支援に関しまして「満足している」「楽しく通っている」といったご意見を多数いただき、職員一同大変嬉しく感じております。</p> <p>また、同時に支援に求めているものについて、貴重なご意見もいただきました。</p> <p>回答の内容を踏まえ、お子様や保護者様のニーズに合った支援を行っていきけるよう、努めてまいります。</p> <p>今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
--